

報告事項（１）

6月定例教育委員会 資料	
令和3年6月29日	
担当課	各課等

6月定例市議会一般質問教育長・副教育長答弁要旨について

【一般質問】

	〔議員名 会派〕		〔担当課〕	〔ページ〕
1	砂田 典男	会派新生	学校教育課	1～5
2	星見 健蔵	会派新生	教育総務課	6
			学校教育課	7～8
3	前田 伸一	公明党	生涯学習・スポーツ課	9
4	雲坂 衛	会派新生	学校教育課	10～14
5	太田 縁	無所属	学校教育課	15
			文化財課	16
6	田村 繁巳	公明党	学校教育課	17～19
7	米村 京子	会派未来ネット	学校教育課	20
8	平野 真理子	公明党	学校教育課	21
			学校保健給食課	22
9	吉野 恭介	会派新生	学校教育課	23～25
			文化財課	26
10	朝野 和隆	会派新生	学校教育課	27
11	秋山 智博	会派未来ネット	学校教育課	28～30
12	伊藤 幾子	共産党	学校教育課	31
13	加藤 茂樹	会派新生	生涯学習・スポーツ課	32
			学校教育課/生涯学習・スポーツ課	33～34

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	砂田 典男	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>G I G Aスクール構想について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. G I G Aスクール構想概要について 2. G I G Aスクール構想の実現について 3. 教育 I C T機器の導入について 4. 現在の使用実績について 5. 今後の課題について 		
<p>【質問要旨】</p> <p>(登壇) G I G Aスクール構想について見解を伺う。 (追及1) 校内LANの整備状況と課題について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(登壇) G I G Aスクール構想は、1人1台端末と校内ネットワークを一体的に整備することで一人一人の教育的ニーズに対応した、誰一人取り残すことのない学びで、資質・能力を一層確実に育成することを目的としています。また、I C Tを効果的に活用することにより、子どもの主体的・対話的で深い学びを、より一層図ることも可能としています。これまでの本市の教育実践とI C Tの効果的な活用により、本市の子どもたちが、これからのSociety5.0時代を、社会的にしっかりと自立して生きぬき、ふるさとを思い、志をもち、夢と希望に満ちた次代をひらいていく力を身につけていくことを期待しています。 (追及1) 校内LANにつきましては、令和2年度中に高速化の工事が完了しています。無線アクセスポイントは40台のタブレット端末が一斉に接続可能なものを整備しています。加えて、現在、校外の回線の光化を随時進めており、これが完了すると、より一層インターネットへの接続が安定したものになる見込みです。今後も各学校の通信状況等の把握に努め、より使い勝手の良い環境となるよう改善を図ってまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	砂田 典男	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	G I G Aスクール構想について 1. G I G Aスクール構想概要について 2. G I G Aスクール構想の実現について 3. 教育 I C T機器の導入について 4. 現在の使用実績について 5. 今後の課題について		
【質問要旨】 (追及2) 生徒用タブレットとして i P a dを選定する際に、どのような点に重点を置き、選定したのかを伺う。 (追及3) 学校でのクラウド利用状況について伺う。			
【答弁要旨】 (追及2) 昨年度、学校へ配付するタブレット端末を選定するにあたり、学校現場への希望アンケートをとるとともに、他市町の整備予定等を調査しました。i P a dはネットワークに接続していなくても端末のみで活用できるアプリがあるうえに、感覚的に操作できること、また、これまでタブレット端末の操作の経験が少ない場合でも、馴染みやすいこと等のメリットがあります。このようなことから、タブレット端末の利用経験が様々な児童生徒が使用するという点に鑑み、i P a dが適当であると判断いたしました。 (追及3) 現在、児童生徒一人ひとりにアカウントを割り当て、児童生徒が作成した文書等はインターネット上、いわゆるクラウド上に保存しています。このように、データをクラウド上に保存することで、ファイルを作成した人以外とも共有でき、協働的な学習を行うことも可能となります。今後、家庭でタブレット端末を活用することを予定しておりますが、クラウド上に保存することで、家庭にある端末からも課題データを受け取ったり、クラウド上にデータを提出したりすることができます。今後もクラウドを有効的に活用することで、学習における利便性や効率を高めていきたいと考えます。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中 対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	砂田 典男	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>G I G Aスクール構想について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. G I G Aスクール構想概要について 2. G I G Aスクール構想の実現について 3. 教育 I C T機器の導入について 4. 現在の使用実績について 5. 今後の課題について 		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及4) 校務支援システムについて伺う。</p> <p>(追及5) I C Tの活用計画やフォローアップなど、継続的に改善を続ける必要があると思うが、今後の方針について伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及4) 校務支援として、平成30年度から、全県で導入した給与・勤怠管理システムと学校業務支援システムを活用しています。給与勤怠管理システムでは、教職員の出退勤時刻や休暇管理を行っており、学校業務支援システムは、学校間の連絡や児童生徒の出席管理、成績管理、保健管理等に活用しています。これらのシステムの導入により、校務の効率化が図られたり、客観的な数値を把握することで時間外勤務時間の削減への意識の醸成にもつながっています。今後も、これらのシステムも有効に活用するとともに、I C Tの活用による各種のアンケート処理等、教職員の業務の負担軽減も図っていききたいと思います。</p> <p>(追及5) 本市におけるI C Tの活用計画を、昨年度の9月、改訂版を3月に学校へ配付しております。また、プレゼンテーションアプリでデータを共同編集したり、アプリを使って学習の振り返りやアンケートを行ったりする方法についての動画を作成し、学校への配信も行い、活用の支援を行っています。また、学校からのI C T研修の要請に応じて学校へ出向き、教職員への研修を行っています。今後も、教職員のI C T活用に係る指導力向上のための研修の実施や、学校での活用状況の把握に努め、活用計画の見直しを随時行いながら、学校でのI C T活用が、より一層進むよう、取り組みを進めてまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	砂田 典男	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	G I G Aスクール構想について 1. G I G Aスクール構想概要について 2. G I G Aスクール構想の実現について 3. 教育ICT機器の導入について 4. 現在の使用実績について 5. 今後の課題について		
【質問要旨】 (追及6) このG I G Aスクール構想では、各学校へWebカメラや大型提示装置の配備を行っているというが、今後も学習のねらいを踏まえて、このように機器を積極的に導入していくことも必要ではないかと思う。現在、導入されているWebカメラや大型提示装置は、どのような取り組みを想定され配備しているのか伺う。 (追及7) 学校でのタブレット端末使用状況について伺う。			
【答弁要旨】 (追及6) 今後の遠隔学習等で活用できるよう、Webカメラとマイクスピーカーを、小・中学校には1セット、義務教育学校には2セット整備しました。大型テレビモニターについては、全ての中学校と小学6年教室に整備しました。活用可能な既存の大型テレビモニターやプロジェクターなどと合わせて、遠隔地や海外の学校等との交流授業やグループや学級全体での発表や話し合いに、日常的に活用することができるようになっております。 (追及7) 学校現場では、4月より本格的にタブレット端末の活用を始めております。活用を進めるには、まずは子どもたちがタブレット端末に慣れる必要があります。そこで多くの学校では、比較的活用しやすい写真プリントやインターネットブラウザによる検索、e-ラーニング教材などを使って学習等で積極的に活用しております。今後は、データやファイルを共有・編集を行う協働学習や双方向での意見交換等の活用を進め、子どもたちの学びをより一層充実させることで、子ども一人一人の主体的・対話的で深い学びの実現へとつなげていきたいと考えています。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	砂田 典男	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	G I G Aスクール構想について 1. G I G Aスクール構想概要について 2. G I G Aスクール構想の実現について 3. 教育 I C T機器の導入について 4. 現在の使用実績について 5. 今後の課題について		
【質問要旨】 (追及8) 児童生徒1人1台のタブレット端末が導入され、学校では活用が徐々に進みつつある。今後、日常的に活用していくこととなると推察するが、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない教育の実現のため、今後どのようなことが課題となると考えておられるのか伺う。			
【答弁要旨】 (追及8) 不登校や学級での学習が難しい子どもにも教室で学ぶ子どもと同様に、学びを保障していく必要がありますが、そのためには体制づくりとオンライン環境の整備が課題となっています。そこで、オンライン授業等に活用するためにタブレット端末の持ち帰り実証実験を行っています。児童生徒が家庭へ持ち帰ったタブレット端末を使って連絡や学習ができるのか検証し、臨時休業等の緊急時にも備えた学習支援体制を早急に構築したいと考えます。また、オンライン環境の整備については、Wi-Fi環境のない家庭に対し、モバイルルーターの貸し出しを行う予定です。これからも、I C Tを活用した学びの充実に取り組んでまいります。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	星見 健蔵	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	教育総務課
質問・答弁月日	令和3年6月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	第2期鳥取市教育振興基本計画について 1 教育方針について		
【質問要旨】 (登壇) 第2期鳥取市教育振興基本計画では、3つの「ひらく」を推進し、誰一人取り残すことのない教育の実現を目指すとされていますが、鳥取市らしさと特色を生かした教育方針について、教育長にお尋ねする。			
【答弁要旨】 (登壇) 本市には、鳥取砂丘や山陰海岸ジオパークをはじめとする豊かな自然、多くの先人が築き上げてきた伝統、文化、歴史に加え、心豊かな暮らしを実現できるゆとりある生活環境など、鳥取市ならではの「強み」があり、これらがいわゆる「鳥取市らしさ」を生み出す要因になると考えています。この地域特性を生かしながら、教育を通じて、市民誰もが自己実現できる社会にしていくことが、本市教育方針の根底にあるものです。そして、このような考えのもと策定した第2期鳥取市教育振興基本計画では、子どもから大人まですべての世代の人が、ふるさとへの思いや志をもち、社会の中でたくましく活躍できるよう、次代を見据えた特色ある教育の実現をめざしています。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	星見 健蔵	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	追及
質問事項	第2期鳥取市教育振興基本計画について 1 教育方針について 教育環境整備について 2 喜多方市の教育について ・農業科の導入について		
【質問要旨】 (追及1) デジタル化の推進、英語教科の導入、コロナ感染予防対策と、教育現場では教職員はもとより子どもたちも多忙化している。このような状況下で子どもたちの学びの格差や視力への影響、教職員の時間外勤務時間の拡大等が懸念されている。これらの山積する課題を解決するための環境整備について尋ねる。 (追及2) 福島県喜多方市では、市内17の全小学校で農業科を必修教科としている。102名の地域の方々が先生役を担っており、「地域で支える授業」と言える。この授業は15年前から取り組まれ、喜多方市教育委員会では「野外での学びと屋外での学びの横断」と指摘している。市長自ら提唱された喜多方市の教育をどのように評価されるのか、教育長に伺う。			
【答弁要旨】 (追及1) 多忙化による様々な課題に対する環境整備としましては、まず、特別支援教育支援員やスクールサポートスタッフ等を配置し、人的な支援体制に努めております。また、音声ガイダンス機能付電話機の設置、自動検温器の配布等により教職員の業務時間を確保したり、学校業務支援システムによる出席簿・指導要録の作成やeラーニング教材の導入等により事務的業務の効率化を図ったりしています。さらには、ICT活用により、子どもたちの個別最適な学習や教職員のリモート研修など、授業や業務の効率化を図っていきます。このように、教職員の多忙化解消を図っていくことは、児童生徒に係る課題解決にもつながると考えます。 (追及2) 喜多方市では、平成18年に農業教育特区として「農業科」を特設し、名称は継続しながら、現在は平成21年度から「総合的な学習の時間」として扱われています。その学習では、作物の植付から収穫・販売までのすべての過程を地域人材と協働して行うという、地域と一体の学習であることが魅力であり、たいへんすばらしいと考えます。鳥取市でも福部未来学園では、らっきょうづくりを通して地域のみなさんと一体的な取組を行っています。今後も作物を育てる体験や自然体験等、地域の特色を活かし、地域のみなさんに支援をいただきながらの学びを大事にしていきたいと考えます。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	星見 健蔵	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	第2期鳥取市教育振興基本計画について 1 教育方針について 教育環境整備について 2 喜多方市の教育について ・農業科の導入について		
【質問要旨】 (追及3) 農業科に取り組む児童が、一連の作業で収穫した米をどう消費者に食べてもらえるのか、生産農家の立場で考えていることに驚いた。農業科の授業を通して、食や命の関係性を知り、その過程で「思いやり、想像力、実践力」を身につけていっている。英語やデジタル化の推進も必要だが、次世代を担う子どもたちには、このような授業も大切だと思うが、教育長の所見をいただきたい。			
【答弁要旨】 (追及3) 喜多方市の児童は「農業科」の学習の中で、体験でしか得られない学びをしているのであろうと思われます。自分の手で育てているからこそ、収穫までの苦労や喜びも実感できますし、地域の人々とのかかわりが深いからこそ、収穫後の販売に至るまでを考えているのだと思います。このような体験や地域の人々とのかかわりで食や命の大切さを学ぶことは、教育的意義が大きいたへん重要であると考えます。本市でも、地域社会に開かれた教育を展開するとともに、身近な地域の農業を含めた生活や仕事をしっかりと体験、学習することで、郷土を愛する豊かな心を育てていきたいと考えます。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	前田 伸一	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和3年6月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	防災減災について (2) 避難所について ②マンホールトイレについて		
【質問要旨】 (追及4) 市民体育館のマンホールトイレの整備について、どのような考えで整備されたのか。			
【答弁要旨】 (追及4) 市民体育館の再整備にあたっては、市民政策コメントや地域からの要望を踏まえ、平成29年に策定した鳥取市民体育館再整備基本構想の中で、「災害に強いまちづくりに即した施設」が基本コンセプトの一つとして示されました。これを受け、令和2年に実施したプロポーザルでは、防災の視点を仕様書に組み入れました。その結果、事業者側からの提案内容のひとつに、マンホールトイレの設置があげられ、これを採択したものです。 本市としましても、被災時におけるトイレを確保することは、避難者の健康維持や命にもかかわる大切な環境整備であると認識しております。マンホールトイレを整備することで、避難所として衛生環境の向上や避難者のストレス軽減につながるものと考えています。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	雲坂 衛	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>学校図書の充実に関連して</p> <p>(1) 図書室の重要性の認識と現状について</p> <p>(2) 電子図書館の推進について</p> <p>(3) 大学との連携と本市の課題について</p> <p>(4) 図書室の改造について</p> <p>(5) 今後の対応について</p>		
【質問要旨】			
<p>(登壇)</p> <p>学校図書館の重要性・必要性の高まりについてどのように認識しているのか。また、どのような計画で学校図書館の整備充実を図るのか、第4次鳥取市子どもの読書活動推進計画等のなかで、何年間で蔵書を何冊から何冊への目標や、「年度別 新規購入図書」の目標冊数はあるか。国県からの交付額算出額、本市の予算措置額、現状に対し十分な対応か。</p> <p>(追及1)</p> <p>これからは、タブレットの活用による電子図書での読書活動の推進も考えられる。現在の日本では著作権の関係上、多くの電子図書を活用しにくい現状ではあるが、著作権フリーのものを活用し電子図書化するとよいのではないか。タブレットでどんなことができるのか何う。</p>			
【答弁要旨】			
<p>(登壇)</p> <p>学校図書館は、子どもたちが読書習慣を身につけ生涯にわたって学び続ける基礎的な力や、人間性を育むために重要であります。つまり、学ぶための学校図書館であり、また、心を育てるため、心の休まる場所、安心できる場所であり、必要であると認識しています。</p> <p>第4次鳥取市子どもの読書活動推進計画では、具体的に学校の蔵書を何年間で何冊から何冊にするなどの目標値は設定しておりませんが、各学校において、学校図書館の充実のため取り組んでいくこととしています。</p> <p>学校図書購入費については、文部科学省の「学校図書館図書整備等5か年計画」（平成29年度～令和3年度）に沿って、普通交付税により地方財政措置がされています。</p> <p>令和2年度の普通交付税の算定基礎となる基準財政需要額は、小学校、中学校あわせて25,081千円となっています。本市の学校図書購入費の実績は、小学校、中学校あわせて25,011千円でほぼ普通交付税の算定基礎となる基準財政需要額と似通ったものとなっています。学校では、全校に配置した学校司書の工夫やPRなどにより、子どもたちにとって有意義な図書が整備され、十分に活用されているものと考えております。</p> <p>(追及1)</p> <p>電子図書館の機能として、貸出業務の電子化と書籍閲覧の電子化がありますが、現在、市内全学校の学校図書館は、貸出業務の電子化がなされています。蔵書につけたバーコードシールを機器で読み取ることで効率よく貸出手続きがなされ、読書活動に役立っています。</p> <p>1人1台端末が整備されたことにより、児童生徒がタブレット上で読みたい本を探せる・読めるなど、読書活動がさらに広がっていくことを期待しています。今後もタブレットを活用しての読書活動についても研究してみたいと考えております。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	雲坂 衛	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>学校図書の実態に関して</p> <p>(1) 図書室の重要性の認識と現状について</p> <p>(2) 電子図書館の推進について</p> <p>(3) 大学との連携と本市の課題について</p> <p>(4) 図書室の改造について</p> <p>(5) 今後の対応について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2) 学校図書館に係る会議や学校司書等から、学校図書館の実態に関して出てきている課題について伺う。</p> <p>(追及3) 県内大学の図書館の本を借りて学校図書館を充実させる取組なども考えられるが、そのような取組が進んでいないのは、こういった課題があるからなのか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2) 学校図書館には、読書センター・情報センター・学習センターと3つの機能・役割があり、それぞれに課題があります。例えば、学習センターについては、学習に必要な図書資料の種類と冊数の確保をどうしていくかということなどの課題があります。現在は、教科の学習の中で学校図書館を活用した取組を充実させるために、各学校の司書教諭や学校司書は、公立の図書館や中学校区の他校から借りて必要数を確保するなど、学習センターとしての機能が上がるよう工夫しております。今後も、司書教諭や学校司書の研修を重ね、さらなるICTの活用も含め、学校図書館の実態に努めていきたいと考えております。</p> <p>(追及3) 市内各学校は、学習に必要な図書資料については、その都度公立図書館からまとめて借りることができます。さらには、定期的に各学校・各学級で読書に必要な図書を配達してもらっています。このように、公立図書館から必要な図書資料が借りられている状況から、大学の図書館から借りるに至っていないということでもあります。しかしながら、県内には市立図書館を通じて、県内の大学の図書館の本も借りられるネットワークもあります。各学校に対し、改めて本県の図書館ネットワークの活用について周知を図っていききたいと考えています。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	雲坂 衛	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>学校図書の充実に関連して</p> <p>(1) 図書室の重要性の認識と現状について</p> <p>(2) 電子図書館の推進について</p> <p>(3) 大学との連携と本市の課題について</p> <p>(4) 図書室の改造について</p> <p>(5) 今後の対応について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及4) 蔵書の選定や配置などを工夫し、魅力ある図書館づくりが大切であると思うが、学校図書館ではどのように蔵書を選定しているのか。また、蔵書の配置等はどう工夫されているのか。</p> <p>(追及5) 現在、図書費は使い切っており、重要性・必要性がまず認識ならば、図書費の予算を増額しなければならないと考えるが、市長、教育長の所見を伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及4) 蔵書の選定については、学校司書や司書教諭を中心として児童生徒や教職員の意見を取り入れながら行っています。読書センター・情報センター・学習センターとしての機能が充実するよう、流行りの新書だけではなく、昔ながらの良書や図鑑等、様々な書籍を選定しています。蔵書の配置も各学校で様々な工夫をしています。季節やテーマを定めて特設コーナーを設けたり、ポップを工夫して読んでみたい思いを感化したりと視覚的にも工夫がなされています。委員会活動と連携してイベントを開催するなど、児童生徒の自発的な活動の楽しい取組で、魅力ある学校図書館づくりもなされています。</p> <p>(追及5) 図書室は学びの場だけではなく、子どもたちが安全安心に過ごせる場所であり、これからの充実を図っていきたいと考えているが、普通交付税の算定基礎となる地方財政措置は見合ったものが措置されています。この額を、次年度に向けしっかりと確保してまいりたいと考えています。</p> <p>(追及5) 学校図書館の重要性はますます高まってきていると認識しています。普通交付税の算定基礎となる地方財政土地に算定されているところもありますし、学校図書館、蔵書の充実は、これからますます大切になってくると考えています。今後も市教委に状況を聞きながら、必要な図書の購入に係る予算をしっかりと確保できるよう努めてまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	雲坂 衛	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>教科書採択について (1) 自虐史観から脱却した正しい歴史認識と自己肯定感について (2) 不当な教科書検定によって1年遅れで検定に合格した教科書を含めて、あらためて教科書採択の見直しができる「採択替え」を行うことについて</p>		
<p>【質問要旨】 (登壇) 自虐史観から脱却した正しい歴史認識と自己肯定感について教育長に伺う。 (追及1) 不当な教科書検定によって1年遅れで検定に合格した教科書を含めて、あらためて教科書採択の見直しができる「採択替え」を行うことについて教育長に伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】 (登壇) 検定を合格した教科書については、客観的な歴史認識に基づいて記載されているものと考えています。自己肯定感については、中学校学習指導要領の社会科の目標にも記載されていますが、我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚については、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養されるものであると考えています。 (追及1) 追加で中学校歴史教科書が検定を合格し発行されることに伴い、県教育委員会において行う調査研究の結果も参考にし、1市4町の東部地区の教育委員会で今後対応を協議・検討していきたいと考えております。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	雲坂 衛	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月14日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	<p>「新型コロナ」対応に関連して 3 マスクの対応について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及16) 運動中は必ずマスクを外すことを徹底することが必要だと考えるが教育長の所見を伺う。</p> <p>(追及17) 夏の登下校時もマスクを外すよう、地域と連携し周知徹底を図る必要があると考えるが教育長の所見を伺う。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及16) 昨年の5月29日に、文部科学省の通知を受けて、本市としても体育の授業における児童生徒のマスク着用は必要ないが、換気や児童生徒間の距離を十分保つ等の配慮をするよう通知をし、各校はそれに沿って対応してきました。加えて本年も6月1日には、体育の授業や運動部の活動においては、休憩中やミーティング中を除いては、マスクの着用は必要ない旨を改めて通知したところです。中には感染を心配してマスクを外したがない児童生徒もあるようですが、そのような心情にも配慮しつつ、熱中症等の健康被害を防ぐことが最優先であることを伝えながら対応しているところです。</p> <p>(追及17) 熱中症が危惧されるこの時期の登下校については、人と十分な距離が確保できる場合にはマスクを外すよう各学校に通知しています。特に、自分でマスクを外してよいかどうか判断が難しい年齢の児童等には、気温や湿度、暑さ指数が高い日には屋外ではマスクを外すよう、教員が積極的に声掛けを行うよう通知しています。また、その際は人と十分な距離を確保し、会話を控えることについても指導を行うようにしています。子どもたちのマスク着用については、地域の方々からもその意図を十分理解していただけるよう、PTAや学校運営協議会等と連携しながら周知していくよう努めてまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	太田 縁	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	コロナ禍における地域資源を活かした地元産業の連携強化について ・地域資源を活かした教育について		
【質問要旨】 (追及9) コロナ禍での学校行事等において、各学校が工夫をしながら取組を進めていると聞いている。県内の地域資源等を活用した教育活動を行っているか聞いているが、修学旅行等の実施状況について伺う。 (追及10) 地域資源を活用した教育活動について、教育的成果について伺う。			
【答弁要旨】 (追及9) 修学旅行については、小学校・義務教育学校前期課程の8校、中学校・義務教育学校後期課程の4校が6月末までに実施または実施予定です。主な行先は、県内及び島根県東部地区で、市内の施設を活用する学校もあります。文化遺産や遺跡、観光名所等をめぐる行程で、文化財等について学んだり、豊かな自然や伝統に触れる体験をしたりと地域資源を活用した教育活動を実施しています。宿泊学習や全校遠足等の校外学習においても、校区内の施設や名所を散策する行程で実施し、地域資源に触れる活動を行っています。学年ごとに遠足の行先を分散する等、各学校において対策を講じながら、校外学習等を工夫して実施しています。 (追及10) 修学旅行等を通して、地域の良さや、訪問場所で出会う人々の温かさに触れることで、子どもたちにとってもふるさと鳥取のよさを再発見できる機会となっています。また、地元地域での職場体験活動や中山間地域の豊かな自然に触れるふるさと体験活動を実施することにより、普段は味わえない「本物」に触れることができ、地域資源への関心の高まりや理解を深めることが期待されます。コロナ禍だからこそ、各学校が工夫ある取組を行うことで、子どもたちの住む鳥取の良さに気づくよい機会となっています。今後も、地域資源等を活用しながら、郷土を愛し、豊かな心を育む教育活動を進めてまいります。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	太田 縁	担当部局	教育委員会
会派名	無所属	担当課	文化財課
質問・答弁月日	令和3年6月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	歴史資源を活かしたまちづくりの推進について ・鳥取城跡整備について		
【質問要旨】 (追及1) 鳥取城跡の整備について、市民の機運の高まりをどのように受け止めるか、市長の所見を伺ったが、実際に整備事業を進める教育委員会としてはどのように受け止めているのか。教育長の所見を伺う。 (追及2) 鳥取城跡の復元整備を着実に進めていくということだが、大手登城路の復元整備だけでなく、文化財の価値を保全するための石垣の修理や、三階櫓の復元などに向けた地盤の調査なども必要なのではないか。現時点の所見を伺う。			
【答弁要旨】 (追及1) 想定より時間はかかっていますが、『史跡鳥取城跡保存整備基本計画』で短期計画として示した大手登城路の復元整備について、擬宝珠橋、大手門が完成し、事業の成果が市民の目に見える形になって参りました。令和9年度には太鼓御門が完成し、短期計画の目標が達成できる見込みともなっております。中期以降の整備計画には、二ノ丸三階櫓などの復元も含まれています。大手登城路の復元整備が完成した後、その実績を踏まえて、計画を見直し、着実に事業を実施していきたいと考えています。 (追及2) ご指摘のように、鳥取城跡は国の史跡指定を受けている文化財であり、石垣は文化財としての本質的価値を構成する遺構ですので、その保存は建造物の復元整備以上に重要であると認識しています。また、復元建造物の建築にあたって、これらの遺構を破壊しないよう十分配慮することや、建物の安全性を確保することは、最低限の条件となります。現在、県立博物館側の西坂下御門周辺の石垣の現状把握調査を継続して実施しているほか、今年度は平成30年7月豪雨で被災した二ノ丸三階櫓下の地盤のボーリング調査を実施することとしています。これらの調査で得られたデータは、将来の三階櫓の整備にも活用できるものと考えています。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	田村 繁巳	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	デジタル社会の構築に向けて (4) デジタル人材の確保と育成について (5) 学校におけるDX (デジタル トランスフォーメーション) について ①課題について ②デジタル教科書について		
【質問要旨】 (追及7) ICTを活用した教育の推進について、実際にICTをどのように活用して何ができるようになるのか、また、逆にICTではできないことは何なのか、教育におけるICTの役割について伺う。 (追及8) 国が導入を進めようとしているデジタル教科書をどのように活用しようと考えているのか、また、デジタル教科書にはどのような課題が考えられるのか伺う。			
【答弁要旨】 (追及7) ICTを活用した教育を推進することで、学ぶことの楽しさを感じられる魅力ある授業づくりと学習内容の定着を図る取組を徹底していきます。具体的には、端末のカメラ機能での動植物の観察やeラーニング教材でのドリル学習、授業支援システムによる課題配信や意見交流、共同編集等を行うことができます。Web会議システムを使って遠隔地の学校等と交流することもできます。このように、教育におけるICTには、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、全ての子どもたちの資質や能力を引き出す役割があると考えています。一方で、ICTでは運動等、身体性を伴う活動はできません。これまでどおり児童生徒が実際に多様な他者と関わり合う中で自己有用感を育む学習も推進していきます。これまでの本市教育の実践とICTとを組み合わせることにより、教育の充実と質の向上を図ることができると考えます。 (追及8) デジタル教科書ならではの特性としては、写真や文章の拡大表示や直接画面への書き込みができ、その内容の消去や、やり直し等、試行錯誤が容易であることが挙げられ、ペアやグループで書き込んだ内容を見せあうことで効果的に対話的な学習が行えると考えています。また、音声読み上げ機能や背景色・文字色の変更等により、読み書きが困難な児童生徒の学習支援も可能です。課題としては、デジタル教科書の規格が統一されていないため、教科書によって操作方法が異なることによる混乱が生じる恐れがあることや、無償化されない場合には、高額な費用負担が生じることが挙げられます。今後のデジタル教科書の活用並びに導入については、現在鳥取市も6校が参加しているデジタル教科書実証事業等の成果や課題もふまえ検討してまいりたいと考えています。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	田村 繁巳	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	デジタル社会の構築に向けて (4) デジタル人材の確保と育成について (5) 学校におけるDX (デジタル トランスフォーメーション) について ①課題について ②デジタル教科書について		
【質問要旨】 (追及9) 今後、教室以外の場所でのICT活用も進むと考えられる。体育館や多目的ホール等、学校のWi-Fi環境の拡充やWi-Fiによるインターネット環境のない家庭への支援についてどのように考えているのか伺う。 (追及10) 学校で本格的に1人1台の端末が活用されるようになって約2か月だが、学校現場の反響とその効果について伺う。			
【答弁要旨】 (追及9) 今後、学校においてICT活用が日常化していくと、当然、教室以外での活用場面も増えていくと予想されます。体育館や多目的ホールでも児童生徒が日常的にICTを活用していくと考えられ、その際に必要な環境整備が適切に行えるよう検討していきます。また、今後、端末を家庭に持ち帰って使用することも想定されますので、Wi-Fiによるインターネット環境のない家庭に対しては、機器設置等にかかる費用の助成や、臨時休業等の場合にモバイルルーターの貸し出しを行うとともに、低所得家庭への通信費を補助したりして、該当家庭を支援してまいります。 (追及10) 学校では日常的に端末を活用することで、先生方も子どもたちも徐々に操作に慣れ、日々の学習等に積極的に活用され始めています。カメラ機能や検索機能、eラーニング教材を使った個別学習や、スライド等で意見交換を行う協働学習等、児童生徒の学年や実態に応じて様々な学習場面で活用されています。これからますます学校でのICT活用の幅が広がり、実践事例の共有化をすすめ、鳥取市の新たな学びの創造につなげていきたいと考えています。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	田村 繁巳	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	デジタル社会の構築に向けて (4) デジタル人材の確保と育成について (5) 学校におけるDX (デジタル トランスフォーメーション) について ①課題について ②デジタル教科書について		
【質問要旨】 (追及11) 1人1台の端末が学校に導入されたことで、これまでICTに余りなじみの無かった教員にとっては負担が増加したのではないだろうか。教員のICT活用指導力の向上のためにどう いう取組を行っているのか伺う。			
【答弁要旨】 (追及11) 教職員の中には、ICT活用に長けた者もいますが、一方で、機器の操作等に不安を感じている者もいます。本市では、教職員のICTの活用指導力向上を図るため、ICTを活用した授業改善に関する教職員研修をオンラインやオンデマンドで実施しています。また、指導主事が学校を訪問して端末を活用した授業づくりに関する研修も行っています。これらの教職員研修や、各校におけるICTを活用した授業実践事例の共有化を進めることで、教職員のICT活用指導力向上を支援してまいります。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例会教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	米村 京子	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	<p>園児を事故から守る安全対策について (3) 小学校との連携について ①小学校との連携について ②園独自に聞き取りはあるか。 ③園からの聞き取りで問題があった時の対策について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及7) 小学校入学前の園と小学校との情報共有はいつどのように行われているか。</p> <p>(追及8) 本市が私立幼稚園と連携が取れるのは入学前の園への聞き取りになると思うが、本市が直接園に聞き取ることはあるのか。</p> <p>(追及9) 小学校と保護者、園との連携に問題があった時にどのような対策を考えているか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及7) 本市では、各園の全ての年長児の健康面や人間関係面、集団生活の様子についての情報を保育所児童保育要録(幼稚園幼児指導要録)等の文書で小学校に引き継いでおります。また小学校入学前の2月から3月にかけて園または小学校において、園の教職員と小学校の教職員とで全年長児に関わる情報を共有する会をもち、必要な支援・情報の伝達や活用に取り組んでいます。</p> <p>(追及8) 本市では私立幼稚園を含む全ての園に対して、早期からの就学相談や教育相談、適切な情報提供等を行い、柔軟できめ細かな対応ができる一貫した支援体制を構築しています。こども発達支援センターでは、保護者や園から就学に向けて相談を受けている児童及び就学時健康診断後に小学校から相談を受けている児童については、入学前だけでなく早期から入学後も含め、園への聞き取りは行っており、必要に応じて保護者・学校からの相談対応、園・保護者・小学校・関係機関をまじえた関係者会議の開催など、保護者、小学校との連携も図っているところです。</p> <p>(追及9) 本市では、こども発達支援センター内に学校教育課の特別支援教育係を設置し、教育と福祉が一体となった切れ目のない支援の充実を図り、連携上の問題を生じさせないように努めています。具体的には、特別な配慮を要する児童については、保護者同席のもと、入学前には、園、小学校、関係機関をまじえた移行支援会議、入学後は園、小学校、関係機関をまじえたフォローアップ会議を持つなどして、小学校入学後の安心安全な学校生活につなげているところです。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中 対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	平野 真理子	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	ヤングケアラーについて (1) 認識について (2) 現状と課題について (3) 今後の取り組みについて		
【質問要旨】			
(追及5) 要保護児童対策地域協議会等が課題に対して連携した支援を教育委員会として行われてきているが、これまでのヤングケアラーという視点での見守り、気づき、支援の取り組みについて現状を伺う。			
(追及6) 児童生徒に対しては、ヤングケアラーを認識していく上でマイナスイメージにならないよう、しっかり配慮しながら、周知する必要があると考える。併せて、相談窓口や相談体制を児童生徒が話しやすく、寄り添う形で一人一人の実態を把握し、一人でも多くのヤングケアラーを発見できるように向き合っていただきたいと考える。教育委員会と学校現場の今後の取り組みについて伺う。			
【答弁要旨】			
(追及5) 現在は、不登校や虐待を受ける児童生徒等について、関係機関等と連携しながら児童生徒やその家庭の状況や背景を共有し、支援しております。しかし、ヤングケアラーという視点での実態把握や支援は始まったばかりであります。教職員や児童生徒自身がヤングケアラーについての認識や自覚を十分に持っていないのが現状です。子どもたちが、過度な負担によって学業に支障をきたしたり、子どもらしい生活が送れなかったりすることは問題ですが、家族の世話や手伝い等に役立ち感を抱いている子どもたちもいます。家族の一員として役割を果たすことについて否定的なメッセージにならないよう留意した上で、実態把握とともに教職員、児童生徒、保護者への概念等の周知を図る必要があると考えています。			
(追及6) 潜在化しやすいと言われるヤングケアラーの実態把握のためには、子どもと接する時間が長く、日々の変化に気づきやすい学校教育現場の役割は大きいと考えます。そのためには、まず教職員がヤングケアラーに関する研修を行い、理解を深める必要があります。児童生徒に対しては、学習指導要領に沿って、体育科の保健領域や家庭科等の学習で自分の行っている家族へのケアが過度であることに気づかせたり、その不安や困り感を相談する方法を学ばせたりすることも必要であると考えます。また、現在行っている個別の支援においても、ヤングケアラーという視点を意識することで、その子どもの背景を的確にみとり、より一層適切な支援につなげたいと考えております。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
			対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	平野 真理子	担当部局	教育委員会
会派名	公明党	担当課	学校保健給食課
質問・答弁月日	令和3年6月15日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	コロナ禍における女性の負担軽減について (1) 生理の貧困について ③学校への無償配備について		
【質問要旨】 (追及4) 東京都は、9月からすべての都立学校の助成トイレに生理用品を配備すると表明しました。本市でも学校への無償配備を進めていただくべきだと考えるが、所見を伺います。			
【答弁要旨】 (追及4) 本市の各学校では、保健室に生理用品を用意しており、宿泊学習や各種大会時も含め、一時的に生理用品が必要となった場合には、児童生徒からの申し出により、養護教諭が個別に対応をしているところです。また、その他の教職員も、日頃から児童生徒へ積極的に声掛けを行うなど、常に子どもの様子の把握に努めており、家庭の状況も含め、個別の状況に応じて、適切な対応を行っています。 学校のトイレに生理用品を配置することは、現時点では衛生面、管理面で問題があり、これまでと同様、一人一人に寄り添った対応を続けてまいりたいと考えます。 いずれにしても、子どもが生理用品で困ることのないよう、児童生徒はもとより、保護者からも相談しやすい環境づくりにより一層努めてまいります。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	<p>ヤングケアラーについて</p> <p>(1) 地域包括支援体制の現状について</p> <p>(2) ヤングケアラー、若者ケアラーの認識について</p> <p>(3) 本市対応の現状について</p> <p>(4) 支援について</p> <p>(5) 本市の問題意識について</p>		
<p>【質問要旨】</p> <p>(追及2)</p> <p>家庭生活や不登校・いじめなどの学校での生活態度など、どこかに不自然な行動が現れてくるのだと思う。こうした子どもたちの合図に対して、学校現場では、どのような手段で対応しているのか、認識はあるのか、尋ねる。</p> <p>(追及4)</p> <p>兄弟のケアに追われる中高生ともに相談した事がないとの回答が中2で6割超、高2で6割というアンケート結果であった。アンケートではこのような結果だったが、本市は今後、ヤングケアラーへの支援として留意することをどう考えているのか。</p>			
<p>【答弁要旨】</p> <p>(追及2)</p> <p>学校は、日々の授業や生活指導のほか、定期的に行うアンケートや面談等を通して子どもの状況をキャッチしやすく、支援の必要な児童生徒を早期に発見し得る機関であり、一人ひとりの背景や困り感に応じた支援を行っているところです。今後、学校内で関係者会議を行う中で、家庭に対する支援の必要性を検討する場合には、ヤングケアラーの視点も取り入れていく必要を感じています。そこで、まず、教職員を対象とした研修等を通して、ヤングケアラーの概念や支援の方法等についての周知を図りたいと考えます。教職員のヤングケアラーに対する理解が進むことで、これまで行ってきた取組がより適切なものとなるよう、努めてまいります。</p> <p>(追及4)</p> <p>支援を行うにあたっては、まずは、福祉、介護、医療、教育等といった様々な分野の関係機関が連携し潜在化しがちなヤングケアラーを早期に発見し早期に支援することが重要だと考えます。一方で、ケアをしている子どもの実態は様々であり、手伝いの範疇と認識していたり、家族のケアをすることに役立ち感をもって生きがいになっていたり、また、家族の状況を知られなくなかったりするため相談を望んでいない場合があること等に留意する必要があります。そのため、まずはしっかりと子どもの気持ちに寄り添い、支援が必要な状況にあるのか、どのような支援を望んでいるのか等について、専門機関と連携を図りながら丁寧かつ慎重に聴き取り、支援にあたることが重要であると考えております。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
			対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	ヤングケアラーについて (1) 地域包括支援体制の現状について (2) ヤングケアラー、若者ケアラーの認識について (3) 本市対応の現状について (4) 支援について (5) 本市の問題意識について		
【質問要旨】 (追及5) 学校現場の教職員に尋ねても、まだケアラーの状況把握は進んでいない。学校には限界があり、児童生徒の事情が分かっても多様な家庭のケース・領域には立ち入れない現実がある。存在が把握できたとして、学校から福祉に支援をつなぐなど、具体的にはどのような方法で福祉制度につなげられるか。先生の負担を考えると本当にやれるのか尋ねる。			
【答弁要旨】 (追及5) 学校では、困り事のある児童生徒の背景には様々な家庭の状況があることは現在も認識しており、場合によってはスクールソーシャルワーカーも入って学校内で関係者会を開いたり、福祉部局主催で関係機関を招集する協議会を開催したりしています。そこでは児童生徒の背景や困り感の共有がなされますが、学校が全ての支援を担うのではなく、各機関が役割分担してアプローチし、福祉制度の活用につなげたりもしています。このように、現在行っている個別の支援にヤングケアラーという新たな視点を意識することで、その子どもの背景にある問題点早期に把握し、より一層適切な支援につなげていきたいと考えております。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中 対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	地域活性化について (2) 若者×学校における県内定住の促進について		
【質問要旨】 (登壇) 人の感性や価値観の醸成について、本市の人づくりの教育をどのように行なっていこうとしているか伺う。 (追及3) 授業の中に地域を知っていく内容や学校生活・職場体験等をとおして、人や仕事・社会を学んでいることは貴重な学びの場であると考えます。小中学校の授業で地域を取り上げ、テストの設問に地理や歴史の問題として出題する。高校入試に出題されるなら自ずと小中学校で地域への関心が高まる。こうした取組に対して教育長の所見を伺う。			
【答弁要旨】 (登壇) 人の感性や価値観については、人それぞれ違うものですし、違っていても良いと考えます。また、子どもたちは、様々な体験や活動をとおして、感性や価値観を育てていくと考えます。本市では、小中学校において、地元地域での職場体験、豊かな自然や文化財に触れる中山間地域ふるさと体験、県内での修学旅行等を実施しています。このように地域資源のよさや価値を実感し、「鳥取らしさ」の体験で得られた達成感をとおして、郷土への誇りを持ち、関心と愛着が深まるものと考えます。郷土に根ざした取組が、人とのつながりの温かさを感じる感性を育み、本市を支える人づくりにもつながると考えています。今後も、ふるさとへの思いや志を持ち、たくましく活躍できる人づくりを進めてまいります。 (追及3) 授業やテスト等で地域話題を取り上げることは、「ふるさとを思い 志をもつ子」を育む上で大切なことと考えます。例えば小学校では、本市の小学校教員等が作成した独自の教材を基に、地元地域の特徴や伝統文化等についての学習を行ったり、調べ学習において地域を取り上げたりする学校もあります。また高校入試では、郷土に関わる出題がなされたり、小中学校が独自に作成するテストでは、地元由来の問題を出題したりすることもあります。本市では、各教科や学校行事等において、地元の地域資源に触れる活動を積極的に取り入れたり、姉妹都市である姫路市・郡山市の児童生徒との交流等では、ふるさとの良さを再発見することにつながる取組を行ったりしているところです。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	吉野 恭介	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	文化財課
質問・答弁月日	令和3年6月21日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	地域活性化について (1) 観光資源の深堀について		
【質問要旨】 (追及1) 鳥取城跡の周辺には、様々な文化観光資源が点在しており、これらの一体的な活用が課題として『史跡鳥取城跡保存整備基本計画』にも掲載されている。また、久松山一帯の利用者から、倒木や動物などに関わる山の管理の窓口がなく不便だという声もある。2035年までの長期計画『史跡鳥取城跡保存整備基本計画』において、平成27年までの短期計画の中で、管理機構の確立とともに管理施設の設置が予定されていた。この組織の確立と管理施設についての考えを尋ねる。			
【答弁要旨】 (追及1) 本市では平成18年に長期計画として策定した『史跡鳥取城跡保存整備基本計画』に基づき、周辺施設との調整や、発掘などの調査研究といった、史跡整備に必要な条件を満たしながら、短期計画の中心事業である大手登城路の復元整備に取り組んでいます。国庫補助金の限度額による制約もあって、当初の予定より期間が延びていますが、現時点では、令和9年度末の完成を目指しています。史跡鳥取城跡の管理については、文化財課を窓口に関係各課で調整する体制を庁内で整備してきたところですが、短期計画完了前後に、それまでの実施成果を踏まえて保存整備基本計画を見直し、管理機構や管理施設等、さらに具体化していきたいと考えています。			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
対応済			
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	朝野 和隆	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月22日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	子育てしやすい環境整備について (1) 病後保育及び、放課後児童クラブの状況について (2) 今後の取組について		
【質問要旨】 (追及3) 市民の声を把握することは放課後児童クラブ事業でも重要と考える。この放課後児童クラブ事業ではどのように市民の声を把握しているのか問う。			
【答弁要旨】 (追及3) 本市では、市からの委託を受けた保護者会やNPO法人が、地域の実情に応じて放課後児童クラブを運営しています。そのため、クラブによって開設時間や利用料等が異なるため、入級申込みやクラブへの問い合わせ等については、クラブへ直接お願いしているところです。また、今回のような様々な相談等については、直接、学校教育課へお尋ねいただいているところです。毎年、就学前検診時等に児童クラブの説明を行ったり、ホームページ等でも周知を図っているところですが、今回のような事例が発生しないよう、さらに事業について周知を図り、保護者のニーズに沿った対応ができるよう努めてまいります。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	秋山 智博	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月23日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
			追及
質問事項	鳥取市消費者教育推進計画（改定）について （5）学校教育の取り組みについて		
【質問要旨】			
<p>（追及7）</p> <p>鳥取市消費者教育推進計画には、「特に幼児期、小学生期、高校生期は消費の基礎を築く時期であり、その時期における消費者教育の充実は特に重要と考えます。」とある。すでに各学校では、消費者教育が進められていると聞いているが、具体的には、どのような取り組みを行っているのかを伺う。</p>			
【答弁要旨】			
<p>（追及7）</p> <p>消費者教育は学習指導要領に定められており、小学校段階では社会科や家庭科において、中学校段階では社会科の公民分野や技術家庭科の家庭科分野において、今日的な課題について学びます。具体例を挙げますと逢坂小学校では「くろぼこいきいき市場」という自分たちで野菜を育て、地域の人に販売する学習に全校児童で取り組んでいます。この活動を通して、児童は消費者のことを考えながら真心をもって野菜を育てるとともに、価格設定や包装など販売に関する課題に気づき、その解決に向けた工夫を考えることができ、将来にわたって消費について考えていく原体験となったものと考えます。今後も、教育課程と各校の特色と結びつけながら消費者教育の推進を図っていききたいと考えます。</p>			
【対応方針・進捗状況】		検討中	対応中
		対応済	
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日（6月定例教育委員会）			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	秋山 智博	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月23日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	不登校支援について (1) 鳥取市総合教育センターについて (2) 具体的な取り組みについて		
【質問要旨】 (登壇) 本年4月より第2期鳥取市教育振興基本計画を定め、次代を見据えた切れ目のない教育施策に取り組むと聞いている。教育を取り巻く社会情勢は高度情報化の急速な進展や子どもの貧困問題など、児童生徒一人一人への対応が求められ、その期待も大きい。本年度より「鳥取市教育センター」から「鳥取市総合教育センター」へと組織改編されたが、その背景と目的について尋ねる。 (追及1) どのような内容の充実を図り、どのような具体的施策を行っているか尋ねる。			
【答弁要旨】 (登壇) 本市の教育行政はGIGAスクール構想の実現やグローバル化への対応など大きく変化する社会情勢への対応が求められ、また、不登校児童生徒への支援、いじめや虐待への対応など児童生徒一人一人に即した支援の強化が急務となっています。そこで、様々な教育課題に特化した調査・研究、それらに基づく施策の立案、関係機関などと連携した相談支援体制の充実強化を推進するために鳥取市総合教育センターへ組織改編しました。とりわけ不登校対策では、不登校をはじめ様々なニーズのある児童生徒や学校、保護者への支援体制を充実させ、児童生徒一人ひとりの学力保障を図るとともに、教職員の更なる資質向上のために効果的な研修を一体的に行うことができるように取り組んでいるところです。 (追及1) 具体的な取組の1つとして、本年度より本市の全ての小・中・義務教育学校で共通のチェックシートを活用することとし、不登校やいじめ等の未然防止、より早期の発見、早期対応に取り組んでいるところです。また、不登校及びその傾向にある児童生徒の学びの保障を図るため、学校復帰や自立をめざして通うサポートルームを従来の2ヶ所を3ヶ所に増設するとともに、相談活動の充実やより細やかな学習支援に努めております。なお、スクールソーシャルワーカーや少年愛護センター、サポートルーム教育指導員を同じ施設、鳥取市総合教育センターへ配置しましたので、より迅速で密な情報共有や有機的かつタイムリーな支援へつなげていきます。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	秋山 智博	担当部局	教育委員会
会派名	会派未来ネット	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月23日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	不登校支援について (1) 鳥取市総合教育センターについて (2) 具体的な取り組みについて		
【質問要旨】 (追及2) 不登校の要因が年々多様化・複雑化しており、本市の令和元年度の不登校児童生徒数は小学校93人、中学校196人、令和2年度においては小学校123人、中学校200人と聞いており、出現率も上昇し続けている傾向にある。早期に適切に対応することが求められるが、兆候を把握するため、どのような取組を行っているか尋ねる。 (追及3) GIGAスクール構想として1人1台タブレット端末の配備とネットワークの環境整備が行われたが、不登校対策で、どのような活用を図っているのか尋ねる。			
【答弁要旨】 (追及2) 不登校の要因は多様であり、中には児童虐待やいじめ、貧困などの表面化しにくい問題もありますが、子どもたちが直面し得る問題や困り感、辛さを一人で抱え込む恐れのある状況を未然に防止することが大切です。本市では、そのようなリスクの兆候を早期に発見することが可能な「スクリーニングシート」を全児童生徒を対象に定期的に実施しております。データ分析をもとに、子どもの持つ背景等の問題を早期に察知し、ケースに応じてスクールソーシャルワーカーを交えた支援会議を開いています。そこで必要な支援を検討し、医療や福祉などの専門機関に協力を仰ぐなど、より適切な支援を早期に図るよう努めております。 (追及3) 不登校等により学校へ来られない児童生徒が自宅で学校の授業の様子を見たり、学級担任とコミュニケーションを図ったりするなど、状況に応じて有効にタブレット端末を活用している学校もあります。また、本年度から全児童生徒が使用できる学習支援ソフトを、不登校等の子どもが自宅で使い、自分のペースで学習を進めている事例もあります。さらには、タブレット端末で家庭でのオンライン学習教材へのアクセスも可能としており、幅広く活用しています。今後も不登校対策において、タブレット端末をより効果的に活用できるよう、本市としても研究を進めてまいります。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	伊藤 幾子	担当部局	教育委員会
会派名	共産党	担当課	学校教育課
質問・答弁月日	令和3年6月23日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	中学校の部活動と子どもの人権について (1) 部活動の独自ルールについて		
【質問要旨】 (登壇) 部活動をとおして、自発性・自主性を伸ばすことが重要だと考えるが、教育長の所見を伺う。あわせて、部活動ガイドラインをもっと今の時代に合わせたものに見直していく必要があると思うが、教育長の所見を伺う。			
【答弁要旨】 (登壇) 部活動をとおして自発性・自主性を伸ばすことは大変重要であり、これは学校教育がめざす資質・能力でもあります。 指導者がすべてを決め、それに従って活動するだけでなく、例えば部活動の目標や練習メニューを生徒が考えるなど、部活動を主体となって進めるような経験させることで、一層自発性・自主性を伸ばすことができると考えます。 一方、本市が作成した「中学校における部活動ガイドライン」では、「学校長を中心とした責任体制のもと、学校の指導方針に沿って行う」ことや「生徒が人格的に成長していくという部活動の基本的意義を踏まえ、勝利至上主義に陥ることなく、生徒の主体性や個性を尊重した運営に努める」こととしております。すべてを子どもの自治力にゆだねるのではなく、指導者自らが教育者であることを自覚し、人権に配慮しながら生徒に対してしっかりと指導していくことも大切です。 次に、部活動ガイドラインの見直しについてですが、これも、次代に合わせたものに改定していく必要性を感じています。 いくつかの学校では、すでに自主的に部活動の在り方を見直す委員会を立ち上げ、検討を進めているところです。本市も今後「部活動改革委員会」を開催する予定としており、その中でガイドライン等を見直しを図っていきたいと考えています。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和3年6月23日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇
質問事項	東京オリンピック・パラリンピックにおける本市でのキャンプ誘致に関連して (1) 現状について (2) 取り組み・考え方について (3) 今後について		
【質問要旨】			
<p>(登壇) 本市は、東京2020オリンピック・パラリンピックにおいてジャマイカなどの事前キャンプを受け入れる計画であったが、先週ジャマイカ側からの申し出により、キャンプが中止となったとお聞きしている。ジャマイカ事前キャンプの受け入れにかかるこれまでの経過や中止となった状況について、おたずねする。</p> <p>(追及1) ジャマイカキャンプは中止となったが、本市のスポーツ振興はもとより、大きな経済効果の波及やまちのにぎわい創出等のためにも、大規模なスポーツ大会や国際大会の事前キャンプ地としての誘致活動を、今後も継続できるよう期待したいが、今後の取組についての教育長の所見を伺う。</p>			
【答弁要旨】			
<p>(登壇) 本市では、2017（H29）年、オリパラに参加する世界のトップアスリートの技術を体感することや交流・友好を図ることなどを目的として、ジャマイカと県・市・県陸協の4者で「事前キャンプ実施に関する包括協定」を締結しました。この協定を受け、本市では「鳥取市東京オリ・パラキャンプ実施委員会（会長；深澤義彦市長）」を立ち上げ、ジャマイカ陸上代表の事前キャンプの受入れの準備を進めていたところです。しかし、6月15日の夜に行われた会談の中で、ジャマイカ側から、「日本政府が示す新型コロナ感染対策や規制等を遵守した上での事前キャンプ実施は困難である」と判断がなされたため、本市で予定していた事前キャンプの中止が決定したところです。</p> <p>(追及1) 先日行われた布勢スプリントにおいて、山縣亮太選手が日本新記録を出すなどヤマタスポーツパーク陸上競技場は、オリンピック会場となる新国立競技場と同じ路面素材（タータン）を使用し、スポーツイベントの会場や事前キャンプ地として、改めて評価が高まっています。トップアスリートが参加する国際大会のキャンプ地誘致や国内外の大規模大会を誘致することは、本市のスポーツ機運を高めたり、地域経済に果たす役割やまちの賑わい創出に非常に大きな効果をもたらします。来年以後、ワールドマスターズゲームズ、インターハイ、ねんりんピック、鳥取国体などが予定されており、これ以外にも大会等誘致できないか、関係団体と連携し取り組んでまいります。</p>			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課、生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和3年6月23日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	コロナ禍における本市の小・中・義務教育学校のクラブ活動・部活動のガイドラインに関連して (1) 現状について (2) 取り組みについて (3) 今後について		
【質問要旨】 (登壇) 中学校部活動の東部中学校総体が無事開催された。総体前の部活動、大会中でのコロナ対策はどのようなものであったか伺う。 (追及1) 小学生が参加するスポーツクラブ活動での、コロナ対策についてはどのような実施されているのかを伺う。			
【答弁要旨】 (登壇) 県立高校部活動におけるクラスターの発生を受け、対策を今まで以上に徹底するよう通知しました。さらに、鳥取県運動（文化）部活動における新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づいたチェックリストを各校に送付し、生徒と顧問による点検を全ての部活動で実施しています。東部総体では、2週間前からの検温結果等の記録や、試合中の選手を除くマスクの着用を参加者に求めるなどの対策をとっています。また、観客席で観客と選手の接触を避けるなど、県中体連主催大会の実施及び参加におけるガイドラインが示す四つの条件全てを満たすことができない競技は無観客で開催しています。観客を入れる場合であっても、参加生徒一人につき1名、事前申請があった保護者又は家族のみ、入場を許可しました。 (追及1) 小学生が参加するスポーツクラブ活動でのコロナ対策については、本市より令和2年5月15日付けで「体育施設でスポーツ活動及びイベント等を行う際の新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン」を公表したところです。このガイドラインでは①競技者個人、②指導者、③大会及びイベント主催者といったそれぞれの立場からの感染防止策をまとめています。コロナ禍のためスポーツ離れも進みつつある中、このガイドラインに沿ってコロナ感染対策をしっかりと行いながら、安心安全にスポーツに取り組んでいただきたいと思います。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			

鳥取市議会〔一般質問〕 教育長・副教育長答弁 対応方針等 概要

市議会名	令和3年6月定例会		
議員名	加藤 茂樹	担当部局	教育委員会
会派名	会派新生	担当課	学校教育課、生涯学習・スポーツ課
質問・答弁月日	令和3年6月23日		
質問形態	代表質問	個別質問	登壇 追及
質問事項	コロナ禍における本市の小・中・義務教育学校のクラブ活動・部活動のガイドラインに関連して (1) 現状について (2) 取り組みについて (3) 今後について		
【質問要旨】 (追及2) 小・中・義務教育学校のクラブ活動・部活動における一連のコロナ対応で課題として見えてきたものは何か。 (追及3) アフターコロナを見据えて、平成25年3月の鳥取市の「中学校における部活動ガイドライン」に示されている中学校部活動について、今後、工夫や改善すべき課題はあるか。			
【答弁要旨】 (追及2) 部活動におけるクラスターの発生を防止するため、「鳥取県運動（文化）部活動における新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づいたチェックリスト」による点検などの対策が引き続き必要ですが、気温や湿度が上昇する、これからの季節においては、熱中症への対応との両立が課題です。各校には「夏季の気温・湿度や暑さ指数が高い日はマスクを外すなど、熱中症への対応を優先させること」との通知を出しています。その際、合わせて「換気や身体的距離の確保をすること」や「不必要な発声を行わない」ことを指導するなどの新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ、熱中症への対応も進めてまいります。 (追及3) 文部科学省は、持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現する第一歩として、令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域に移行する方向性を示しています。このことを受けて鳥取市は「地域運営型部活動推進モデル事業」に取り組み始めたところです。「鳥取市部活動のあり方に関する提言」においても「人材バンク等による指導者確保の仕組みを構築」することが提案されています。本事業では鹿野町を対象地域として、部活動顧問、生徒、保護者、地域住民の意見を集約しながら、休日の部活動に地域から指導者を派遣する仕組みを検討することとしています。このほか、部活動数の適正化等、持続可能な部活動のあり方について、鳥取市部活動改革委員会で協議してまいります。			
【対応方針・進捗状況】	検討中	対応中	対応済
◆ 対応方針			
◆ 進捗状況			
◆ 報告日 令和3年6月29日(6月定例教育委員会)			